

ふれあふ

発行日 ● 平成22年4月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 62

64列マルチスライスCT



中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。
救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。
常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をととして生きがいにみちた生活を支援します。
利用者と職員の希望をはぐくむ職場づくりをすすめます。
和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:64列マルチスライスCTの導入



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

64列マルチスライスCTの導入

当院では平成21年10月より現在既存の16列マルチスライスCTと共に新たに64列マルチスライスCTを導入しました。マルチスライスCTとは、X線の検出器（人体を通り抜けたX線情報を検出する装置）を複数列用いることで、短時間で体の軸方向に多くの断面を撮影でき、瞬時に細かく64断面（スライス）を一挙に撮影できるのが特徴です。また、検出器の数を増やしただけでなく、1つの検出器の幅を0.5mmと薄くし、検出器の回転を高速化することにより、短時間でより細やかな部分まで画像化することができます。また、X線被ばくに対しても十分に低減し精度の高い画像描出が可能です。

今までの16列マルチスライスCTに比べ飛躍的に進歩したのが心臓領域におけるCTです。短時間に非常に細かい断面を撮影できるため、今までのCTでは難しかった冠動脈の撮影が可能になりました。従来、狭心症・心筋梗塞の原因となる冠動脈の狭窄を検出するためには、カテーテルを動脈内に挿入し、直接冠動脈を撮影する心臓カテーテル検査が主な検査方法でした。これに対しCT検査では、腕の静脈から造影剤を注入し撮影するので、心臓カテーテル検査に比べ侵襲性が極めて低く、30分程度の短時間の外来検査が可能となります。

64列マルチスライスCTによる冠動脈造影検査の適応となる方

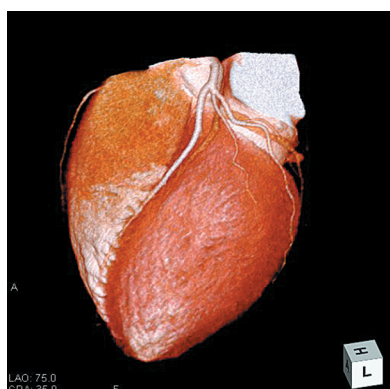
1. 狭心症・心筋梗塞などの疑いで心臓カテーテル検査を勧められている方
2. 喫煙、高脂血症、高血圧、糖尿病、肥満などの心臓疾患にかかわる危険因子をもたれている方
3. 胸痛を感じているが、心臓カテーテル検査をするほどでもないと思われる方
4. 大きな手術の前で、心臓疾患に不安や心配のある方
5. 心臓カテーテル治療、冠動脈バイパス手術を受け、その後の経過観察が必要な方

ご希望の方は循環器内科にご相談下さい。ただし、次の方々は冠動脈検査ができませんので、ご留意下さい。

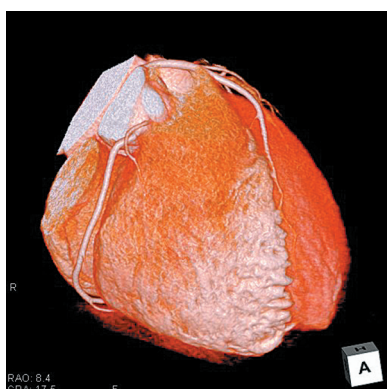
1. 10～15秒程度の呼吸停止が出来ない方
2. 著しい不整脈のある方
3. 造影剤アレルギーのある方

64列マルチスライスCTの導入により、様々な病気の早期発見や治療方針の決定、治療効果の判定など、今まで以上に当院での診断、治療に貢献できる事と期待しています。検査時間が短縮されることにより、患者様にはストレスなく検査を受けていただけるように努めていきたいと考えております。

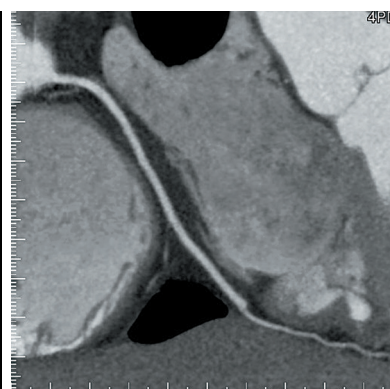
－ 64列マルチスライスCTの画像 －



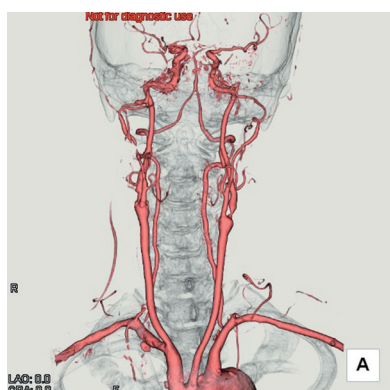
冠動脈1



冠動脈2



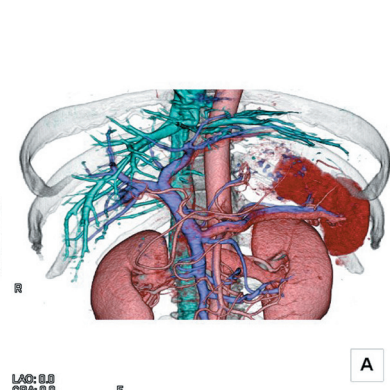
冠動脈3



頸動脈3D



脳血管3D



腹部血管3D

放射線科